

2019 年度東北支部活動報告

【2019.8 中国北戴河での耳鼻科学会で招待講演の機会をいただく】

最幸の旅でした。

中国全土から耳鼻科領域専門の中医師が集まる学会で招待講演の機会をいただき、北京から新幹線で約3時間半の場所にある北戴河に行ってきました。

ここは北戴河会議で有名な水辺の場所。夏場中国の共産党トップの方々が暑い北京を離れ、海辺にあるこのリゾート地で主要な国策を決定することでも有名な場所です。そのためセキュリティーがとても厳重で(今回海外からの唯一の招待講演者である私は)、大変驚きでした。

街並みはとても素晴らしく綺麗で、高級リゾート地のような雰囲気が漂っていました。会場は国立の気功療養院の広大な敷地施設内。名前の示すとおり、病気の治療と予防のための理想的な環境が整っていました。そこはかたなく漂う気(エネルギー)がとても心地よく素晴らしかったです。

全土からお集まりの名高い先生方に交じり、外国人としてただ一人登壇の機会をいただき、メッセージを伝えられたことは、本当に名誉なありがたいことでした。



- ◆医療商社展示は、全て生薬使用
- ◆3年前に一人っ子が政策終了したので、3歳児の人口増加が目に見えて…
- ◆なんと！ この7月から中国全土で漢方薬は中医師しか処方できなくなった(従来は西洋医師も処方できていたのに～これは驚きでした)
- ◆「前回、河南中医薬大学で中山先生の講演を聞き感激して、今回は中医師の父とこの学会に楽しみに来ました！」という学生さんとの交流、以前私の講演を各地で聴いてくださったという先生方との交流がたくさんあり、感激でした。
- ◆あり得ないような順番で特別枠の場所に、今回の私の発表内容を日本語と中国語で学会誌に掲載していただいたこと

◆夜の晩餐会では、学会トップや委員会代表や登壇者の重鎮先生方を差し置き、常に(ナプキンが高く立ててある)最上上座に席を取って下さったなど…

過分なお心づくしを賜り、現地に行かないと知りえない情報や感動の出来事もたくさんでした。



そして、肝心の講演内容は、異国の人間である私があえて「中医学の最新の可能性を説く！」

今回の学会では演者中、ただ一人外国人の私が最長の1時間枠を頂き、下記を盛り込み、お話をさせていただきました。



- ホモ・サピエンスとしての正常な形態に近づくことを治療目標の一つに掲げてきた臨床の結果として、顎顔面成長、頸椎配列、上顎洞などの望ましい変化を遂げ、アレルギー疾患なども改善した実際の症例を報告
- 中国三千年の歴史に支えられた予防(亜健康)医学としての「食」「運動」「睡眠」「マインドの中の七情」
- 病気には「治る病気」「治らない病気」「治してはならない病気」があること
- 治してはならない病気とは？

- 七情(7つの感情)に対し、いかなるアプローチが有効なのか!?
- 「マイナスをゼロに直す」のが最善と考えられていた過去(フロイトの臨床における限界点)
- それだけでは～人間は本当の幸福には達しない理由
- なぜ、一度良くなったマインド(感情)が後戻りをするのか
- いかにすればゼロからプラスを積み上げていくことが可能か?
- 遺伝子の発現形でその結果をモニタリングできる時代の意味、意義
- 原点回帰と未来進化。本来この2つは長い時間軸に存在し対極の立場にあるが、今日それを同時に体感することができる希有な時代に私たちは生きている。
- 螺旋階段の先に存在する本質(アイデア)とは何か?
- 「本質を知ったリーダー」がその後辿るべき道、取るべき理想の姿とは?

話の展開とともに、中国の先生方の「意識の眼差し」が刻々と変わっていくことを壇上から肌で実感できました。言葉を超えて、五感を超えて届くもの…見えない力に後押しされ、重責の講演発表を無事終えられたと感じずにはおれません。

「私の中の魂の想起」そう！中国の地の環境と魂のご縁が起こしてくれた奇跡。言葉に尽くせぬ、心から感謝の旅でした。



東北支部長 中山孔壹